

徳島市産業振興ビジョン策定委員会（第4回）
会 議 録

と き：平成26年3月26日（水）
15時00分～16時00分
と ころ：徳島市役所 8階 庁議室

1 開会	
2 欠席者・代理出席者の報告	
3 議事 産業振興ビジョンの（素案）について	
委員長	<p>それでは、早速議事に入る。昨年8月より始まったこの委員会も、今回で最後となる。</p> <p>本日は、前回委員会でご審議頂いた内容について、修正箇所等を事務局より報告する。皆様の忌憚のないご意見をいただき、より良いビジョンに仕上げていきたい。</p> <p>議題の「徳島市産業振興ビジョン（素案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>徳島市産業振興ビジョン（素案）について、（資料2「新旧対照表」及び参考資料「基礎素材型産業、加工組立型産業、生活関連・その他型産業の推移」）を使って説明</p>
委員長	<p>事務局より、修正箇所等について非常に詳しく説明していただいた。これらについて、ご質問・ご意見を委員の皆様よりいただきたい。</p> <p>提案と質問がある。資料3「徳島市産業振興ビジョン（素案）」36ページの「主な取り組み」の「地域振興施設（道の駅）の整備」は良いと思うが、マルシェやボードウォークを生かした川の駅はどうか。全国ではあまりないことで、強みになるのではないか。法的な制約があるかもしれないが、よそにはない徳島の強みになるのではないか。</p> <p>ここに入れるということではないが。</p>
A 委員	<p>この会議の前段の、中小企業振興基本条例検討委員会に出ていたのが気になったのだが、資料3の58ページ、用語集に「中小・零細企業」とある。</p> <p>中小企業振興基本条例では中小企業者と小規模事業者という表現で、零細企業は出ていなかった。</p> <p>この説明では「ここでは、小規模な事業者も施策の対象として含まれることを明確にするため、「中小・零細企業」と表現している」となっている。このような言い方もあるが、条例上は中小企業者、小規模事業者である。この辺りはどうなのか。</p>
事務局	<p>ご指摘の通りである。課内でも協議したが、小規模事業者も対象とするということを表現したいこともあり、「中小企業者」「小規模事業者」という表現は一般的ではないため、一般的な表現として伝わりやすいようにという判断で、このような表記にしている。</p>

A 委員	中小企業振興基本条例による区分ではなく、より一般的な表現にしたということだと理解した。
委員長	B 委員、観光やコンベンションについて意見はないか。今は J1 の問題もあり、本四連絡道路の全国共通料金化の問題、四国横断自動車道の延伸もある。激変する中において、チャンスをうまく生かせるかどうか、ここにうまく落とし込んでいるかどうか。
B 委員	<p>ビジョンとして大変良い物ができたと思う。</p> <p>急かして申し訳ないが、ビジョンを生かす振興計画、具体化する計画を進めていっていただきたい。</p> <p>コンベンション誘致は大きなテーマであるが、本県の場合、コンベンションビューローがなくなってしまった。</p> <p>四国の他県はエージェントの出向も含めて 14～15 人体制のコンベンションビューローがあり、その中に誘客部会などのいろいろな活動部会がある。</p> <p>本県においては県の観光協会の中にそのセクションの人が 1 名いるだけであるが、これらの強化をお願いしたいとかねがね思っている。</p> <p>また、観光業者の中にプロのプランナーがいればよいと思う。そのような立場の方がいるところもある。</p> <p>この素晴らしいビジョンが早く実行に移されることを願っている。</p>
委員長	C 委員、1 次産業の立場からはどうか。ここに反映できているかどうか。
C 委員	<p>昨年の第 1 回委員会からいろいろとお聞きしてきた。産業振興ビジョンは第 4 次総合計画の下位計画として位置づけているという説明があった。</p> <p>総合計画の計画期間は平成 28 年度まで、産業振興ビジョンは 36 年度までである。総合計画の中で大きな変更があれば、産業振興ビジョンも変更するという位置づけであるかと思う。</p> <p>少子高齢化は社会全体の話だが、特に 1 次産業の分野では高齢化の進行がかなり前からあり、対応が非常に難しいため、担い手をどうするかという課題がある。</p> <p>先ほどの説明では、少しばかり支援センターや JA との連携を追加したことだが、対策が今一つ見えてこないように思う。人がいなければ生産面は滞るし、農地の有効利用も図れない。そうすると、生産量が減って地位が低下していくことになる。その課題を具体的にどうするのか。</p> <p>平成 26 年度に農業・農村振興ビジョンをつくるということだが、人の問題、担い手の確保をどうするか。兼業農家も高齢化が進んでおり、耕作放棄地がどんどん増えるのではないだろうか。農地の中間管理機構ができるという話もあるので、そのような内容を農業・農村振興ビジョンに具体的に盛り込むことも検討していただきたい。</p>
委員長	D 委員、地場産業の立場からはどうか。
D 委員	<p>私が感心したのは、資料 3 の 36 ページに道の駅が出てきたこと。</p> <p>道の駅は県内にもいくつかあるが、地域産業振興の拠点施設として有効であ</p>

	<p>る。徳島市にもできればよいと思っていたので、そのような計画があることを知って非常に感心した。</p> <p>先ほどの事務局の説明では、来年度予算で基本計画策定費用がついているということなので、ぜひ素晴らしい計画をつくっていただき、徳島の活性化の拠点にできればよいと思う。</p> <p>「観光の拠点として」と、観光が中心になっているが、観光だけではなく、徳島の産業や文化、徳島の営みの全てがわかるようなものにしていただきたい。非常に夢があってよいと思う。</p> <p>ただ、委員長からご指摘があったように、川の駅はいつできるのか。川の駅と道の駅を連携させてやっていく必要があるのではないかと。</p>
委員長	<p>卸売業が弱いというが、徳島の1次産業について卸売業は強いと思っている。京阪神の大手市場でのシェアをみると、重量や数量では約8%だが、金額では約12%ある。付加価値の高い野菜が出ているということで誇りに思う一方で、徳島らしい良い品は全て県外に出ていき、地元はその次の品が出ているのかという不満もある。</p> <p>例えばももいちご等でも、生産地の市場に良い物がなければ、産業政策や観光政策においても問題があるのではないかとということがあった。</p> <p>E委員、その辺りも含めて、何かあればお願いしたい。</p>
E委員	<p>流通面ではいろいろな問題がある。</p> <p>ちょうど今、中央卸売市場で経営展望を策定している。全国からみても、徳島市は人口の割に中央卸売市場の売上が非常に大きい。農林水産省が指定する拠点市場よりも高いぐらいである。</p> <p>以前は、京阪神や京浜に品物が行き、地場にはその次の物が来ると言われていたが、今は違う。むしろ、地場の方が良い物が出ている。流通も変わってきている。流通構造と消費構造を徹底的に精査して追求しないと難しい部分がある。</p> <p>確かに京阪神では、徳島の農産物は北海道と一、二を争っているが、ややもすれば、徳島の産地は値を言いすぎて売りづらいと言われており、危機感を持っている。もっと良い物で、価格面でもっと柔軟な産地が他にたくさんある。我々も産地にフィードバックして、もっと柔軟に対応していかないといけない。鳴門金時「里むすめ」も値が高く、東京のスーパーからは「値ばかり言われると商売にならない」と言われた。その辺りも真剣に考えていかなければいけない。</p> <p>相手にされなければ、徳島の1次産業は発展しない。消費者のニーズなど、いろいろなニーズを掘り下げて精査しないと大変なことになる。</p>
委員長	<p>家具や農産物も良い品物を作っているが、市場ニーズに即応しているかどうかは大きな課題である。</p> <p>卸が弱い中でも、強いものもある。1次産業の卸売業は強いので、自信を持てるものもあるだろう。加工組立型もそうだが、本県にはデバイスやLEDな</p>

	<p>ど、強いものがある。強いものは伸ばしていけばよい。</p> <p>F 委員、国際交流の観点から何かご意見をいただきたい。</p>
F 委員	<p>国際交流や、県内・市内の貿易、国際展開の観点から考えると、ビジョンは良い感じでまとまっており、前回よりさらにきれいにまとまっていると感じた。</p> <p>気づいたことがある。今の話にも関わるが、資料3の32ページ「新技術・新製品の開発支援」、あるいは34ページの「製品等の高付加価値化の支援」。海外のバイヤーからは「製品のデザインや見た目がもっと良ければよいのに」ということをよく聞く。新製品ではなくても、同じような物をどう差別化して見せるかという観点。木工等では製品自体にデザインがかかわってくる。製品をどうパッケージングするのかということも重要。製品自体ではなく、周辺部分ではあるが、物を良く見せるためにパッケージやデザインはなかなか侮れない。デザインの開発が高付加価値化や新製品開発としてみなされるならばそういったことに取り組まれる方には非常に良いと思う。そうすれば、国内向けの物を海外向けに売りこむ上で役立つだろう。</p> <p>また、28ページの「産業振興の基本的な考え方」に「意欲を持って経営革新や事業拡大に取り組む事業者を支援することにより、産業の競争力を強化する」とある。これもその通りであるが、それに加えて、より多くの方に意欲を持って取り組んでいただけるようなことをすることも必要なのではないか。いろいろな事業者にいかにやる気を出していただくのか。それは海外展開、国際展開の支援を行う中でも感じるが、これは産業振興の大事なポイントだという気がする。やる気のある人を支援する一方で、いかに裾野を広げていくか。そうした考え方も加えれば、全体としてより良い産業振興ビジョンになるだろう。</p> <p>また35ページの「まちのイメージと連動した産業情報の発信」に「統一的なコンセプトを設定したアピール度の高い展示会の開催等により、本市の産業の魅力を効果的に発信」とあるが、展示会とはどのようなものか。徳島市として展示会をするという印象を持ったが、そうであるのかどうか。JETRO や県でも展示会の出展支援をしているが、海外に出ると徳島だけで売り込むよりも、四国や瀬戸内、あるいは日本として売り込んだ方が、アピールしやすい。海外の方は日本のどういったものがあるかということにまず関心を持っている。ただ、地名となると、北海道、東京、大阪、九州ぐらいは知っている方が多いが、徳島はそうではない。海外では、徳島の物があると言っても「徳島とはどこですか」ということになる。いろいろな連携がある中で、オールジャパンの取り組みや広域的な連携による取り組みに入っていくと、そこで徳島市の品物をアピールしたらしたらよいのではないか。</p>
D 委員	<p>今の話では、市や県ではなく日本でということだったが、逆に私は県の方が、徳島の特産品をいろいろと PR しているが、徳島市はそれが無いような気がする。今回、徳島市の委託事業である木工業活性化支援事業でおもちゃを開</p>

	<p>発したが、その開発過程で、おもちゃだけではもったいないので、子どもを切り口としてお菓子やファッションなどに広げていって、徳島市の特産品を作るべきではないかと感じた。</p>
委員長	<p>G 委員。わかめなど、とくしまブランドに関して、何かあればお願いしたい。</p>
G 委員	<p>今回は中心市街地まちづくり協議会として来ているので、中心市街地について話をさせていただく。</p> <p>本当に良い産業振興ビジョンをつくっていただいたと考えている。早速商工会議所と徳島市で連携していただき、平成 26 年度より中心市街地支援員配置へのご協力をいただけることとなった。</p> <p>現在、中心市街地まちづくり協議会はそのうやアミコ専門店街も含めていろいろなことを考えている。今までは新町川を挟んで「商店街」対「そごう」という形だったが、今は完全に「中心市街地」対「郊外店」という形に変わっている。同じ物を売っているのであれば駐車場がある郊外の方がよいので、みんな郊外へ行くが、我々は商店街各々で特徴を出し、例えば、新町西地区の再開発では新ホールを誘致し、そこにあらゆる店舗を並べることにより、東新町や両国、駅前も変わってくる。それぞれの地区で個性的で魅力のある商店街づくりをしていこうという取り組みをしている。</p> <p>ここに行けば中心市街地のことが全てわかるようなショールーム的な施設、地域の人が楽しめるようなものを東新町 1 丁目商店街に造ろうという取り組みもある。</p> <p>5 年後のビジョンの再検証の時には、市民に「中心市街地が本当に良くなった」と言ってもらえるようになり、市民がいろいろな所を活用することで県外の方にも注目して来ていただけるような循環になるよう、徳島市と協力しながらやっていければよいと考えている。</p>
委員長	<p>H 委員。JC ではまちづくりなどいろいろとやっているが、このビジョンについてのご意見は何かあるか。</p>
H 委員	<p>私の立場でもとても勉強になるような形でまとめてもらっている。このような良いビジョンがあることを会員メンバーにお伝えしたい。これがどんどん施策に落とし込まれて、より良いまちづくりに進んでいけばよい。</p> <p>徳島 JC の場合、中心市街地活性化事業を毎年実施しているので、参考にさせていただきながら、より良いまちづくりのお手伝いできればと思っている。</p>
委員長	<p>I 委員、金融面からみてどうか。</p>
I 委員	<p>事務局の方で追加していただいた資料 3 の 47 ページ、「経営の安定化のための支援」ということで、市の事業として、金融機関もいろいろな形で、団体を含めて、金融機関等が中小企業あるいは零細企業の支援を行うという文章が明確に入っているのが良かった。</p> <p>素案としては、前回の意見を受けて関係団体の固有名詞がかなり入り、全体的に具体的でわかりやすくなったのではないかという気がする。</p> <p>諸計数や図表等も更新していただき、説明文中にも具体的な計数等が盛り込</p>

	まれている。初めて読んでもある程度わかりやすくなったのではないか。
委員長	J 委員。各種団体ということで、ご意見をいただきたい。
J 委員	<p>経済や産業の振興をその任とする団体に身を置く者として、とりわけ、我々中小企業団体中央会というものは、中小企業が組合をつくって、そこでさらに体力を強めていろいろな事業を連携することによって、さらなる飛躍や新しい分野への発展を推進している団体であるので、資料3の39ページ辺りから随所に「企業間の連携」「産業間の連携」という記述をしていただいていることを大変ありがたく思っている。</p> <p>交流からはじめて、組合という形にまでしていただければ、さらに足腰の強い推進母体ができると思う。</p> <p>いずれにせよ、そのような書き振りを随所に入れていただいたことも含め大変ありがたく、良くできたビジョンだと思う。</p> <p>さらにつけ加えれば、せつかくビジョンができたのだから、これからこれを錦の御旗として、新たに具体的な施策をつくる時、あるいは予算を獲得するための力強いツールとして、したたかさを持って活用していただくことを期待する。</p>
委員長	徳島商工会議所も経済界をリードしていただいている。このビジョンについてコメントをお願いします。
A 委員	<p>徳島市とは何回かやり取りさせていただき、委員の皆様方からもお声があったように、だんだん良い物になってきたと思っている。</p> <p>F 委員からお話があったが、徳島市単体で情報発信することは必要だが、もう少し大きく、四国、日本でという観点でいくと、例えば、県の段階でもチャレンジメッセをはじめ、いろいろな展示会を開催しているし、また関西広域連合の一員として、関西というブランドを使って展示会に出るといったことも積極的に進めていくべきだろう。</p> <p>また、日本再興戦略の関係で、日本の各地域で地方産業競争力協議会が開催されている。四国地方産業競争力協議会は3月28日が最終回で、高知県で四国地方の戦略をとりまとめる。6月の政府の新たな成長戦略にも地域戦略として盛り込まれる予定である。そういった動きの中で、本県の顔である県庁所在地・徳島市の産業の益々の振興に、このビジョンを基に施策に十分反映して取り組んでいただければと思う。</p>
委員長	先ほどの農業に関しての話の時に伺いしなかったが、K氏、C委員のお話プラスする意味で何かご意見をいただきたい。
K氏	<p>ビジョン自体は非常に素晴らしい。内容的にも良いものができたと思っている。これからは、ビジョンに基づいた具体的な方策が早い時期に立案できればなお良い。</p> <p>一点だけ気づいた点がある。個人的な考え方もかもしれないが、ビジョンというものは要旨があつてポイントがあるわけだが、ポイントの各項目を読んでいると、文末が「必要があります」で終わっているものが多い。逆に、</p>

	「整備します」「行います」と言い切っているものもある。言い切るのがビジョンではないか。「必要があります」は単なる情勢報告であるので、「このようにしていきます」の方がなお良いのではないか。
委員長	確かにそう思う。 L委員、県の立場から何かコメントをいただきたい。
L委員	何回かの審議を経て、委員の皆様の見解をかなり取り入れられ、非常に良く仕上がっているという印象を受けている。 それぞれの項目の中で、「必要があります」ではなく、もう少し前向きにご意見があったが、資料3の29ページに、つくったビジョンをどのように成果につなげるかという、非常に大事な部分がある。今後の推進方策や、取り組みをどのように進めていくかというポイントとして、29ページはまさに大事な記述になると思う。 特にその中で思ったのだが、徳島市が中心になってするという役割は計画の中の位置づけなのでその通りだが、市だけではなく、ある意味では市民や県民といった、いわゆる消費者という意味で、もっと広い広がりをもって、一体的にビジョンを進めていくというトーンで書いた方が、ビジョンがもっと生きてくるのではないか。副題として徳島市の役割を書くのはよいが、これを「産業振興における今後の展開方策」、言葉は堅いが、副題として「徳島市の役割」とされた方がよいと思う。
委員長	委員の皆様方からの意見が上手に組み入れられ、だんだん良くなってきたという実感を皆様と共有している。本日の意見も取り入れれば非常に良いものができると思う。 質疑はこれで終わらせていただく。 事務局から連絡事項等があればお願いする。
4 今後のスケジュールについて報告	
委員長	委員長から一言お礼の言葉を申し上げたい。 (中略) 最後になったが、委員の皆様方には長期間にわたりご審議賜り、またスムーズな議事進行にご協力いただき、非常に感謝している。 簡単ではあるが、委員長としてのあいさつに代えさせていただきます。 以上をもって第4回徳島市産業振興ビジョン策定委員会を終了する。事務局にお返しする。
5 経済部長挨拶	
6 閉会	